

第1回図書館やお市民フォーラム(2001年6月23日)

メンバーからそれぞれ自己紹介をしていただき、和やかな雰囲気ではじまったフォーラムですが、まずは、「私が考える図書館の役割」というテーマにそって活発な発言がかわされました。

わたしが考える図書館の役割

・IT時代の図書館

図書館は生涯学習の中核施設である。IT時代といわれているが、今後は、本のみならず、様々な資料の収集をし、ますます重要になってくるであろう。その観点からも誰でも利用しやすいということが重要になってくる。図書館に来れない人についてもターゲットを絞っていかなければならない。

現在の八尾市では、サービスポイントが少ないので、地域によって受けるサービスに格差がある。すべての人が同等のサービスが受けられるようにすることが重要ではないか。

また、インターネットで予約ができるなど、そういった方面の充実も図っていくべきである。

・様々な講座の充実

生涯学習の中心になるようにという話があったが、そういう意味では、もっと講座を充実させてはどうか。図書館では、資料をすぐに活用できるので、他とはちがった講座ができるのではないだろうか。

・情報の基地に

地域情報など様々な情報提供や貸し出しサービスの方に重点を置いて欲しい。

・様々なネットワークの充実を

文化交流の場として位置付けていくのか、横のネットワークを組めないかと考えている。

古い本が消えていっている現状で、何が図書館としてできるだろうか。図書館は眼の見える人が利用するというイメージがある。図書館も収集、サービスのエリアを広げて、利用者を増やしていくことが必要。

・開館時間の問題

現在の開館時間では、学生や現役のサラリーマン層の利用が困難である。そういう層にも利用してもらおうとすれば、開館時間の問題がでてくる。時間延長を希望したい。しかし、そのために安易にボランティアの導入などはおこなうようなことはあってはならない。要求に対してはプロが対応して欲しい。正式の立場でプロの知識を持った人が運営していくのが第一であると思うという意見がある一方で、利便さを追求するのも大切だが、蔵書は大切な市民の財産なので、利用するについても考えて欲しいという意見も出された。時間延長をするならばその費用を資料の充実に当てて欲しいである。今図書館において何が大事なのか。利用のしやすさと資料増など、どのあたりで手をうっていくか考えることが大切である。

